

## 2023年度 事業者向け 放課後等デイサービス評価表

事業所名：放課後等デイサービス 放課後等デイサービス カイト KANNABE

	チェック項目	はい	どちらとも いいない (該当ケースなし)	いいえ	改善目標、工夫している点など
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1F、2Fの指導訓練室のスペースとしては合計100㎡ほどのスペースを確保しており、また屋外にもカイトひろばというカイト専用のグラウンドを用意している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	配置基準通り職員は配置しており、活動計画や個別支援計画の作成を全職員で行い、より専門的かつきめ細かい支援をできるような体制づくりを行っている。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	室内の動線は基本的に段差は排除しているが、玄関入り口は一定の段差があるため、簡易スロープを導入することを検討する。
適切な支援の提供	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	日々の活動を行うにあたって、計画▶実行▶改善▶計画…を繰り返しPDCAサイクルを意識して活動・支援の質の向上と改善を図っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2023年度の保護者様向けアンケートを回収しており、頂いた意見等をもとに2024年度より適宜、改善していく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2022年度の結果については玄関への掲示ならびにHPへの掲載を行っており、2023年度結果についても同様の対応を行っていく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	行えていない。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	福山市主導の研修会をはじめとし、その他研修についても職員同士で共有を行っている。2024年度は研修機会（勉強会）をより増やし職員のスキルアップと事業所全体のレベルアップにつなげていく。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	利用開始前に保護者様との面談を行い、保護者様のニーズや悩みなどをヒアリングした上で計画の作成を行っている。また受給者証更新月にも面談を行い、ご家庭・学校・他事業所での様子を伺い、またお子様からも意向を確認した上で個別支援計画の作成を行っている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	当施設独自のアセスメントシートを用い保護者様へ記入をお願いしている。また2024年度はよりアセスメントシートも、より専門的なものを使用することを検討しており、評価→計画→実行→評価の流れを作っていく（例：S-M社会生活能力検査、Vineland II等）
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	活動計画の作成はチームで行っている。5領域を踏まえた活動設定をし、利用者個々に狙いを設定しきめ細かい活動計画を行っている。また
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	5領域を踏まえた様々なカテゴリ（運動・工作・外出・感覚遊び・集団ゲーム・アート・シアター）など用意し活動がマンネリ化することなく、かつ一つひとつの活動に目的を設けた計画を立てている。	
13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	平日と学休日とでサービス提供時間が異なるため、平日（放課後）にはできない活動（外出・クッキング・工場見学）等を実施している。	
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	基本的に集団療育を行っているが、個別配慮が必要な利用者については小集団もしくは1対1の計画・対応・計画を行っている。	
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	支援前のミーティングにて活動計画（1日の流れ、活動の進め方、活動のねらい、利用者個別対応方法）の確認を毎日行っている。	
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	支援後のミーティングにて、利用者一人ひとりの様子、課題、今後に向けての取り組み、活動計画（1日の流れ、活動の進め方、活動のねらい、利用者個別対応方法）について振り返りを毎日行っている。	
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	HUGシステムにて一人ひとりの活動の記録をとっており、活動の様子の写真も添えて保護者様に共有している。また活動の狙いについての記述も含めることでより一貫性を持たせた共有を行うことができている。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	半年に1度、もしくは受給者証更新月にモニタリングを実施している。面談の予定が合わないときなどは、まず計画書の提出をし、保護者様からのご意見や修正点などを入れながら個別支援計画の作成を行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	基本活動の要素を組み込みながら、5領域（認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性、健康・生活、運動・感覚）を踏まえた様々なカテゴリの活動を行っている。	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	相談支援事業所主導のサービス担当者会議を定期的に行っているが、全利用者行われているわけではないため、2024年度は複数の関係機関と連携を取って、支援の方針を決定していく。	

	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		送迎に関わる下校時刻や予定表の確認は、情報のズレを防ぐため、＜学校⇔保護者様⇔事業者＞の流れを徹底している。問題等が発生した場合は、管理者より直接の連絡、もしくは送迎スタッフより送迎時に保護者へ口頭でお伝えすることを心がけている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○ (該当なし)	現在、医療的ケア児の受け入れは行っていない。（医療的ケア児の利用が始まった場合は連携体制を整えていく）
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		就学前に利用していた、児童発達支援事業所・こども園・保育所と連携を図っている。特性や様子を確認するために、実際に事業所・園に見学をし、担当の方に支援の仕方、どのような配慮が必要かなどの情報共有を受けている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○ (該当なし)	小学校低学年の利用者が多いため、移行支援会議等は行われていないが、情報を求められた場合には適宜、情報共有を行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○ (該当なし)	今後連携を取る必要が出てくれば適宜行っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	外出時、公園などで障害のない子どもと関わる機会はあるが、児童クラブや児童館との交流は行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		福山市放課後デイ連絡協議会へ加盟しており、情報交換やオンライン研修等も受講している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○	利用後の送迎時、受給者証更新月の面談時に面談を行い、共通理解図っているが、きめ細かさという観点でみると十分な連携が取れていないと考えている。2024年度については、個別支援計画の進捗状況等も定期的にお伝えできるような体制づくりを行っていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	2023年度については事業所として利用者を知ることには重きを置いていたもので、ペアレント・トレーニングには注力できていなかった。今後、保護者様が悩まれているときに、事業所としてアドバイスができるよう、職員の知識習得・スキルアップをはかっていく。
保護者への説明等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に契約書・重要事項説明書を保護者様と読み進め確認を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	送迎時、面談時、また保護者様から個別に相談を受けた場合には、職員間で共有を行い、事業所としての助言を行うことを心がけているが、親御様が困ったときの相談役に常日頃なれているわけにはなにも感じている。より保護者様の手助けができるよう、事業所・職員のスキルアップをはかっていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	コロナ禍のため保護者会等は行っていないが、状況を鑑みて保護者会等を行い、保護者様同士の横のつながりを持てる場を提供していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		即座に情報をまとめ、管理者より保護者様へ連絡をする等、迅速な対応を心がけている。苦情が発生した場合は、職員間で情報共有をおこない再発防止に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報の発行は行っていないが、施設からのお知らせや警報発令時の対応や活動スケジュール、活動の様子、自己評価表の開示などはHUGシステムにて公開し、情報発信を行っている。またシステム内で保護者とメッセージのやり取りをできるため、連絡体制も取れている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報の取り扱いには十分配慮している。契約時に保護者様より同意をいただいた上で、SNSやHUGシステム内にて写真共有している。（SNSで写真を公開する際は顔や名札等は伏せて公開している）
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		施設として得た情報を、内容を精査し、必要・状況に応じて保護者へもお伝えする等の対応を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	行っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	○		各種マニュアルについて、BCP（業務継続計画）等、現在作成中のものもあるため、完成し次第保護者様・職員への開示等行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年1回防災訓練を行っている。2023度については11月に避難訓練を行った。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		2023年度は6月に身体拘束・虐待防止研修を行った。2024年度も引き続き研修を行っていきながら、新対抗・虐待防止の取り組みを行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○ (該当なし)	基本的に身体拘束は行わない体制を取っているが、今後必要性が出てきた場合は対象利用者の保護者様に同意を得て対応にあたっていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○ (該当なし)	現在、保護者から重篤な症状を及ぼすほどの食物アレルギーがある利用者はいない。契約時のアセスメントシートへ食物アレルギーの有無を確認し、ある場合は食事の提供に配慮を行っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの共有は支援後のミーティングで行っており、事例集までは作成し、事業所内の安全管理をより徹底していく。